



タデアイの育て方



【土壌づくり】

種をまくのには通常苗床を作りますが、家で育てる場合は必要ありません。

プランター植えの場合

大きめのプランターに、軽石、赤玉、土の順に入れ良く平らになります。

野菜用の培養土を混ぜた土がおすすめです。日当たりと水はけの良い場所に設置してください。

日当たりが悪いと徒長して、風で倒れてしまうこともあります。

水はけのよい土であれば、特に土質は選びません。鉢植えやプランターは、赤玉土（小粒）7：腐葉土3の割合で混ぜたものか、市販の草花用培養土を使ってください。

【種まき】

種を蒔く時期

3月の上旬の大安の日を選んで行うのが通例。遅くとも4月中には蒔きましょう。

種の蒔き方

20cm間隔ほどに（地植えは50cm間隔）一箇所に3～5粒ずつ、2～3cmほどの深さの穴をあけて蒔く。蒔いたら土で穴を埋めて、軽くならし、たっぷりと水をやってください。

水の勢いが強いと種が浮き上がってきてしまいますので注意してください。

発芽～間引き

種まき後、朝夕たっぷりと水をやると2～3週間ほどで発芽します。発芽後は根の成長を促すため、水の量を軽く湿るぐらいに抑えるようにします。

背丈が10cm程になったら、一箇所につき2本程にします。（葉っぱが触れ合わないように入間引く）

【成長するまでにやる事】

除草

成長を促すため、こまめに雑草を抜き取ってください。

水やり

土の表面が乾いたらたっぷりと水をやります。6月中下旬から勢いよく成長し、同時に根張りもよくなります。水切れを起こすことがありますので、こまめに注意しましょう。

水のやりすぎによる根腐れに注意をしながら、朝夕と水をあげてください。

施肥

5月下旬ごろに追肥を行ってください。肥料は鶏糞を茎から離して適量散布してください。

緩効性化学肥料でも大丈夫です。

虫駆除

暖かくなってくるとアブラムシが葉の裏につき、成長を妨げてしまいます。アブラムシのついた葉は黄色くなってしまい色素が生成されません。アブラムシ駆除としてはいくつか方法がありますが、

- ①テントウムシなどを葉につける
- ②牛乳を葉っぱの裏にスプレー
- ③オルトランを散布する

などの方法があります。また、藍の葉は虫にはとても美味しいらしく、毛虫などがつくると食べられてしまうのでこまめに取り去ってください。刈り取り

第1回目刈り取り

梅雨明けの6月下旬～7月上旬ごろになると背丈50～70cm程に成長するので刈り取りを行います。

晴天の日に、下から10cmのところを刈り取ります。刈り取り後施肥します。

第2回目刈り取り

8月上旬～8月下旬ごろになるとまた背丈50～70cm程に成長するので刈り取りを行います。

晴天の日に、下から10cmのところを刈り取ります。種とり用の藍は刈り取りません。

【開花・種とり】

種とり用の藍は9月上旬ごろになると白やピンク色の花が咲きます。その後10月下旬以降には種が実ります。種ができた房を切り、風通しのよく乾燥した場所につるします。乾燥後は封筒に入れて保管し、翌年の種まきに使います。（藍は二度越冬すると発芽率が著しく下がります。）



～タデアイの種～



～タデアイの花～



～タデアイの種が実ったところ～



～藍の生葉染め～

タデアイを通して皆さんの絆が深まり、
地域の輪が広がりますように♡

